

デスクサイドラック ボックスタイプ BHS-760

共通取扱説明書

※小さなお子様をご使用になる場合は※

保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様に付き添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はラックとして使用されることを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BHS-760
寸法	幅 76cm × 奥行 37cm × 高さ 150.5cm
棚板の表面材	合成樹脂化粧繊維板（メラミン樹脂）、合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）
表面加工	脚部、パンチング扉：エポキシ樹脂塗装
原産国	中国
耐荷重	総耐荷重100kg（天板・底板：各10kg、ボックス内棚板：各8kg、オープンラック棚板：各45kg）



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 製品の分解や改造、修理は絶対におやめください。思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。
- 本製品の内部または付近で火気を使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 不要になった梱包袋を頭からかぶったりしないでください。窒息など重大な事故につながるおそれがあります。
- 本製品は部屋の出入りを妨げる場所や、緊急時の避難を妨げる場所に設置しないでください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。



組み立てのご注意

- 組み立てる前に各部品に不足や不具合がないかご確認ください。不足や不備があった場合はただちに組み立てを中止してください。
- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は周囲に何も無い平らで広い場所で行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ネジ・ボルトの取り付け前に、ネジ・ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ネジ・ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのネジ・ボルトを仮締めし、しっかりと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとネジ・ボルトを固定してください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。
- 市販のプラスドライバーをご用意ください。

⚠ 使用上のご注意

- 全てのパーツは必ず取り付けて使用してください。（戸当りクッションは除く）
- 本製品は室内用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は品質表示に記載のとおりです。耐荷重以上の荷重は加えないでください。転倒または破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 本製品は、積載荷重が天板に偏ると転倒しやすくなります。
ご使用の際は、天板よりも底板への積載荷重が大きくなるようご注意ください。
- 本製品の一箇所に過度な荷重は加えないでください。破損または転倒の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 製品の上段のみに偏って収納しないでください。バランスがくずれて転倒し、けがをするおそれがあります。
- 製品は壁際に設置してください。また地震等で転倒しないよう、壁面に固定する等の対策を行ってください。
- 製品を設置する際は地震等で転倒しないよう、付属の固定用部材を使用してください。付属の固定用部材の使用がやむを得ず出来ない場合は、市販の固定用部材で固定し、地震対策を行ってください。
- 製品は床面が平らで、強度が十分な場所に設置・使用してください。不安定な場所で使用すると転倒や破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 製品の上に立ち上がったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 本製品の上に、加熱した鍋や湯沸かし、熱い湯呑などを直接置かないでください。熱いものを置く際は、必ずコースター等をご使用ください。変色や変形の原因となります。
- 濡れたものを載せないでください。破損や劣化、カビの原因となるおそれがあります。
- 本製品に寄りかかったり、物を立てかけたりしないでください。製品が転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 強く引っ張ったり、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 製品に寄りかかったり、ぶら下がったりしないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 製品特性上、可動箇所は傷が発生するおそれがあります。予めご了承ください。
- 長時間同じ場所で使用すると、接地面が変形・変色する場合があります。
必要に応じて保護シート等をご使用ください。
- 本製品を移動させる際は、天板の上の物を下ろしてください。天板の上に物を載せたまま移動させると、積載物が落下し、破損またはけがをするおそれがあります。
- 棚板に物を載せたまま移動させる際は、すべてのケーブル類をコンセントから外し、積載物が落下しないよう十分注意しながらゆっくりと動かしてください。破損または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 移動をする際は引きずったり、落としたりしないでください。破損や床面に傷がついたり、けがをするおそれがあります。
- 本製品を移動させる際は、大人2人以上で移動させてください。1人で移動させると、思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- 本製品に寄りかかったり、物を立てかけたりしないでください。製品が転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 棚板に物を載せる場合は棚板からはみ出さないようにしてください。転倒または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 防虫および殺虫剤、消臭剤や除菌剤などは直接製品に散布しないでください。
劣化や変色の原因となるおそれがあります。
- 下記のような場所での使用はおやめください。劣化や色あせ、カビなどが発生するおそれがあります。
 - 直射日光に長時間さらされる場所
 - 冷暖房器具の熱や風が直接あたる場所
 - 高温多湿な場所
- 火気や暖房器具の近くに設置しないでください。やけどや火災が発生する原因となります。

■ ホルムアルデヒドについて

● ホルムアルデヒドとは

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つといわれています。常温で気化し、無色で刺激臭があるのが特徴です。主に家具や建材に使用される塗料や接着剤に含まれており、常温で気化するというその性質上、徐々に室内に放散され滞留します。

ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間滞在すると、目・鼻・喉への刺激や、咳やくしゃみといったアレルギー症状が現れることがあります。また、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が高い場合は、呼吸困難等の重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

● 家具を設置する室内の換気について

アレルギー症状を発生しにくくするために、下記に記載する定期的な室内の換気を行ってください。

- ・製品の開梱及び組み立ては、風通しの良い十分換気できる部屋で行う。
- ・初めて使用になる前に、製品を設置した部屋の換気を十分に行う。
- ・製品を設置してからも、部屋を長時間締め切ったままにせず、こまめに部屋の換気を行う。

● 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質の許容量には個人差があります。したがって、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が、健康上望ましいとされる濃度値以下の濃度であってもアレルギー症状が現れる可能性があります。

可能な限りホルムアルデヒドの放散が少ない材料を使用しておりますが、全く放散されないわけでありませんので、予めご注意ください。

● アレルギー症状が疑われる場合

何らかのアレルギー症状が起きた際は、すみやかに医師にご相談されることをおすすめします。

■ メンテナンス・廃棄方法

- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は直ちに使用を中止してください。
- ネジ・ボルトや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに水分を乾いた布で十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、カビや臭気の原因となります。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やカビの原因となります。

■ 組立前にお読みください



確実な組み立てのため、ネジ・ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。
ネジ・ボルト穴に正しいネジ・ボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから最後にドライバーでしっかりと増し締めしてください。

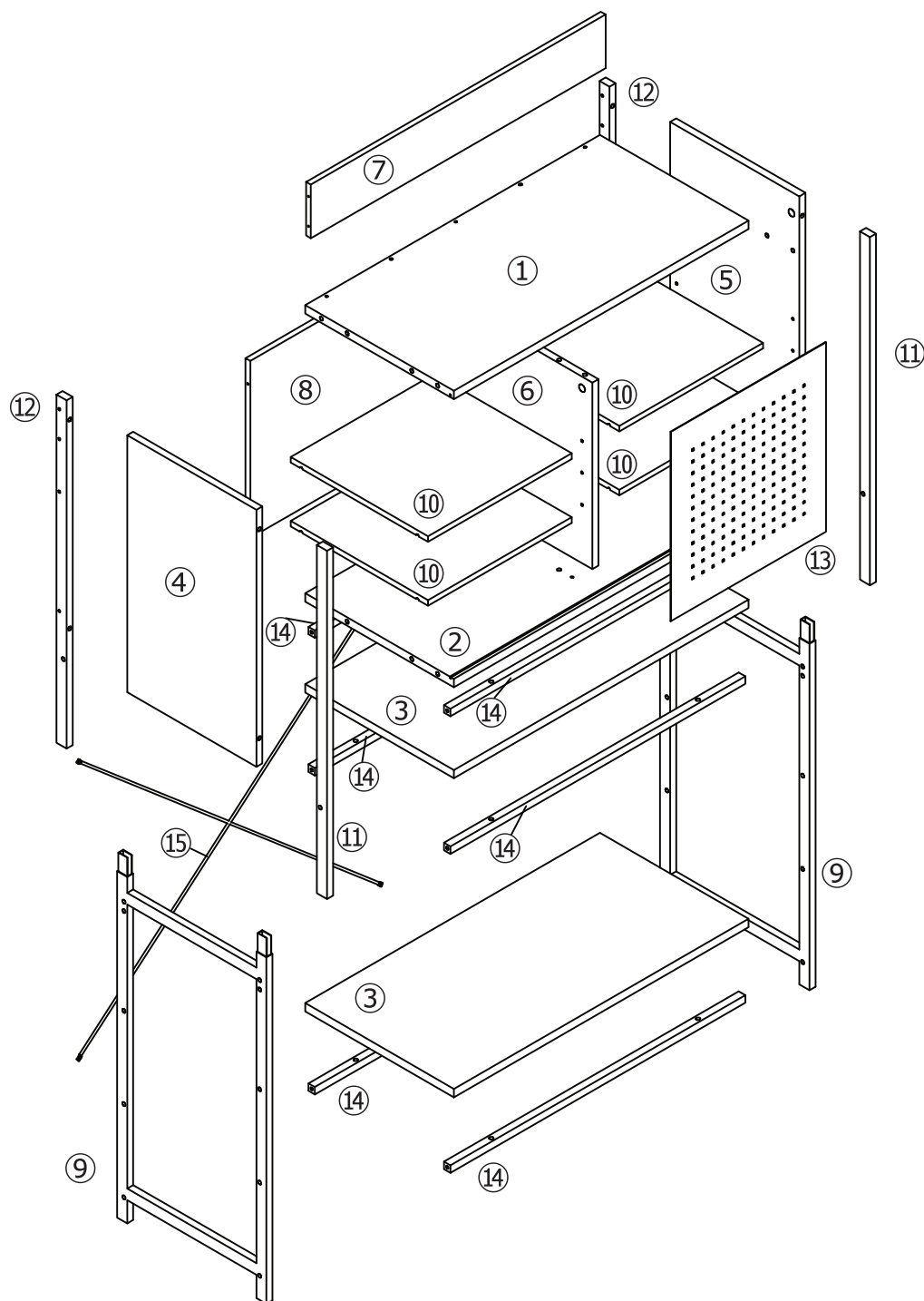
最初にきつくネジ・ボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてネジ・ボルトとネジ・ボルト穴位置が合わなくなることがあります。

無理な力で斜めにねじ込むとネジ・ボルト穴がつぶれネジ・ボルトが入らなくなります。

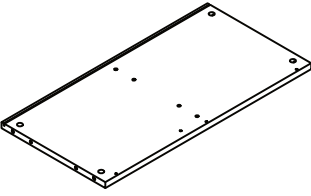
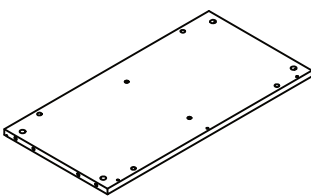
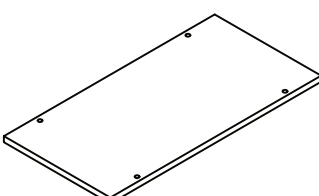
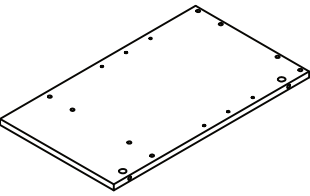
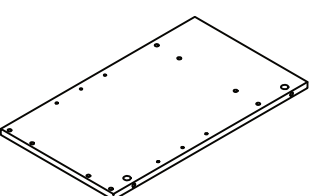
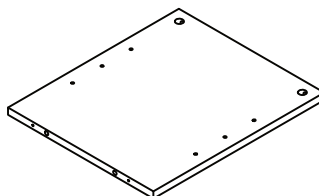
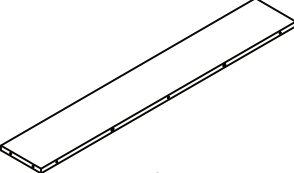
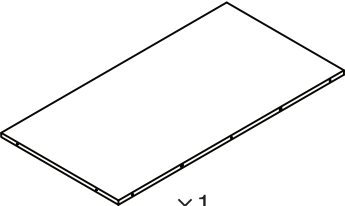
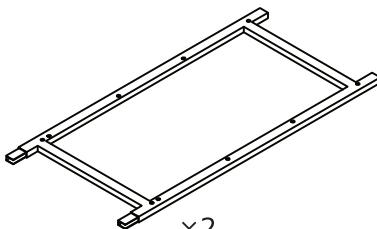
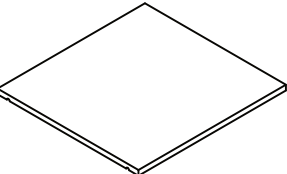
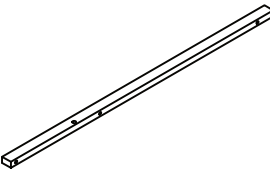
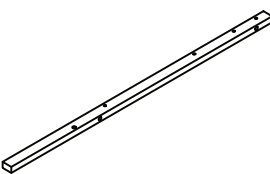
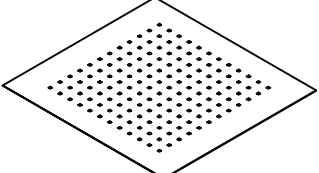
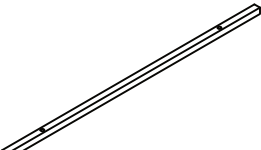
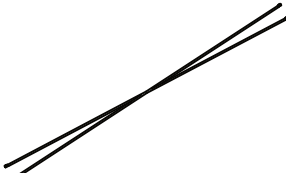
また、誤ったネジ・ボルトを使用すると製品が破損する場合があります。

※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

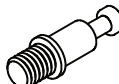
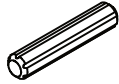
■ 全体図

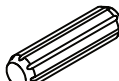


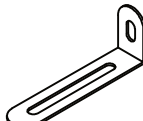
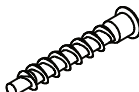
部品・付属品

①	ボックス天板	②	ボックス底板	③	オープンラック用棚板
					
×1		×1		×2	
④	側板（左）	⑤	側板（右）	⑥	中仕切り板
					
×1		×1		×1	
⑦	天板上背板	⑧	ボックス背板	⑨	脚部下部
					
×1		×1		×2	
⑩	ボックス内棚板	⑪	脚部上部（手前）	⑫	脚部上部（奥）
					
×4		×2		×2	
⑬	パンチング扉	⑭	棚板支持具	⑮	クロスバー
					
×1		×6		×1	

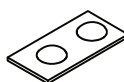
部品・付属品

A	カムロックボルト (木材用)	B	カムロックナット	C	カムロックボルト (金属用)	D	木ダボ (小)
							
×10 (+ 予備2)		×14 (+ 予備2)		×4		×4	

E	木ダボ (大)	F	棚受ダボ	G	ネジ (a)	H	化粧シール
							
×12 (+ 予備2)		×16 (+ 予備2)		×16 (+ 予備2)		×シール14枚 (+ 予備2) ※図面はイメージです	

I	転倒防止用金具	J	ネジ (b)	K	ボルト (a)	L	ネジ (c)
							
×1		×1		×4		×4	

M	ボルト (b)	N	六角レンチ	O	アジャスター	P	ボルト (c)
							
×24 (+ 予備2)		×1		×4		×4	

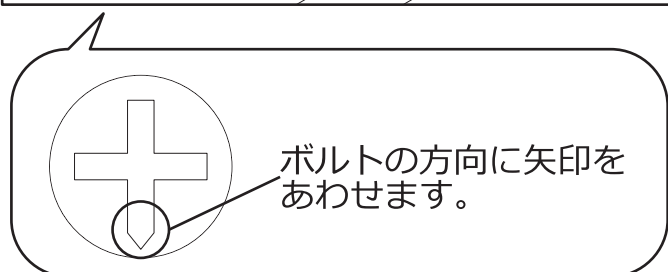
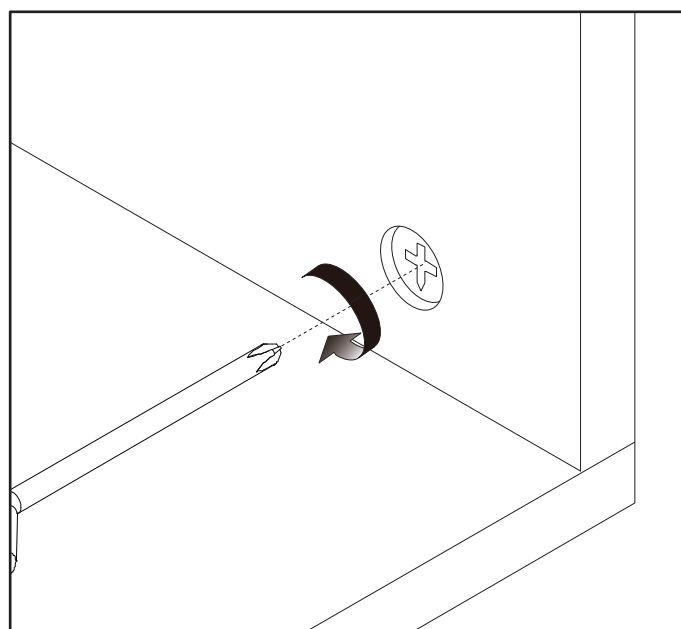
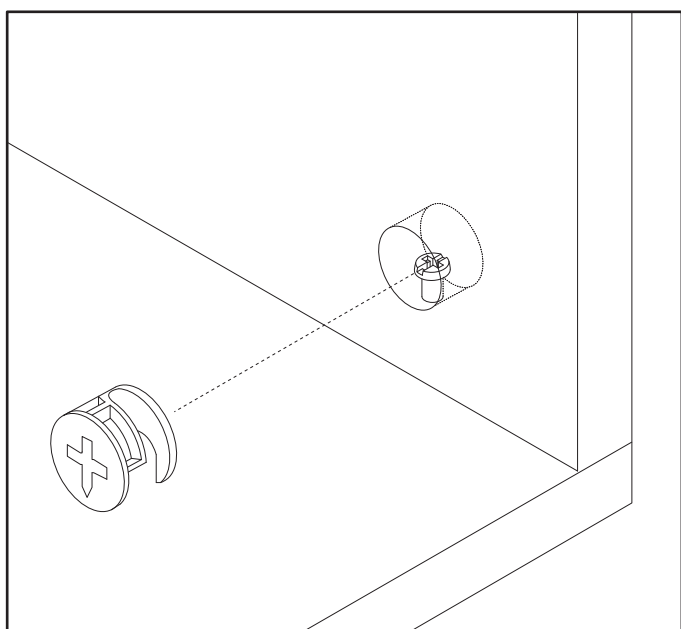
Q	ネジ (d)	R	石膏ボード用 アンカー	S	戸当り クッション
					
×1		×1		×クッション4枚 ※図面はイメージです	

⚠ 組み立てる前にかならずご確認ください

● パーツに過不足・異常はありませんか？

本製品は構造上、組み立て後に分解しにくい製品です。
かならず、組み立て前にすべてのパーツが過不足なく揃っているか、また全てのパーツに異常がないかを確認してください。万が一過不足や異常が発見された場合は、組み立てを中止し、20ページに記載のサポート窓口までお問い合わせください。

● カムロックの取り付け方法



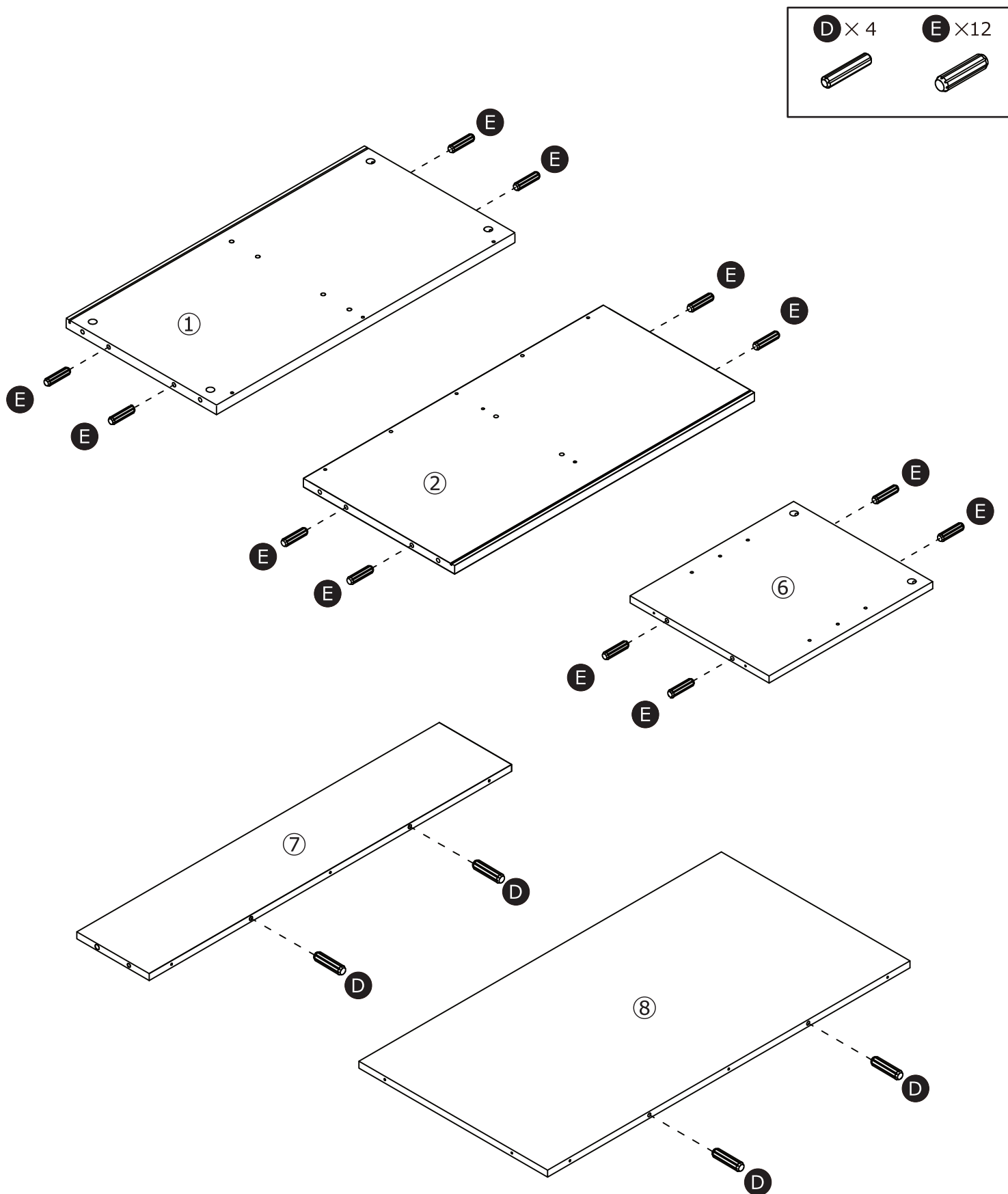
ボルトの方向に矢印をあわせます。

プラスドライバーを用いて、時計回りに180°回して固定します。

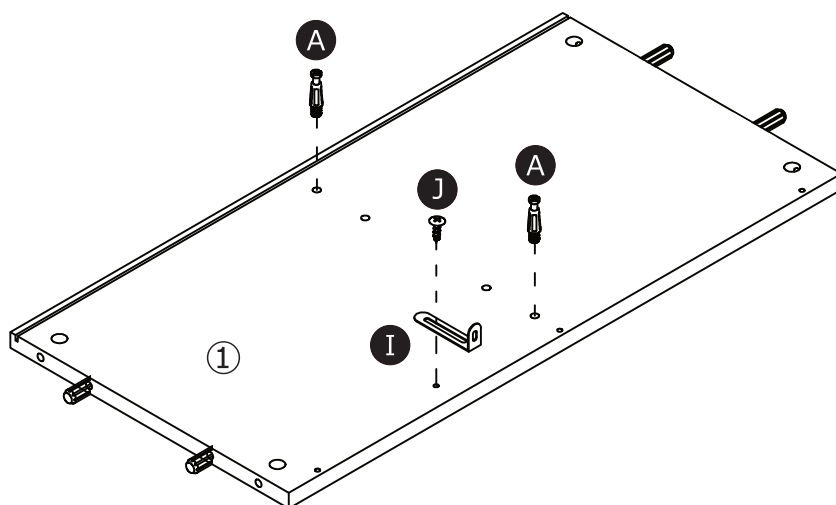
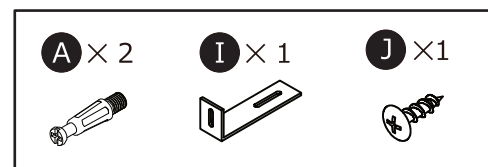
● 別途プラスドライバーをご用意ください。

■ 組み立て手順

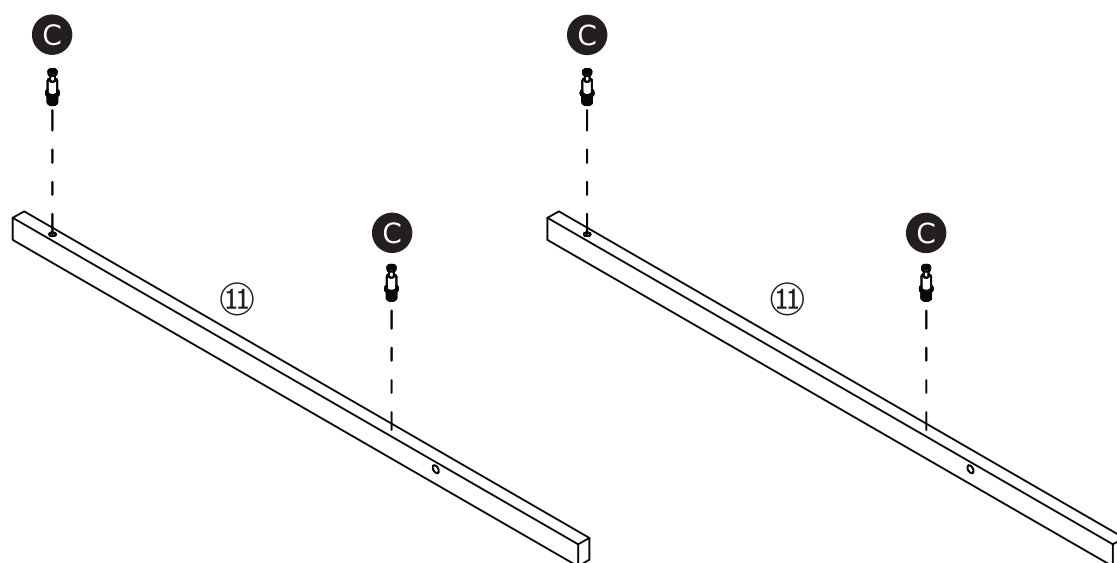
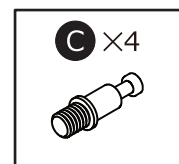
- 1 ①ボックス天板、②ボックス底板、⑥中仕切り板にE.木ダボ（大）を、
⑦天板上背板、⑧背板にD.木ダボ（小）を取り付けます。



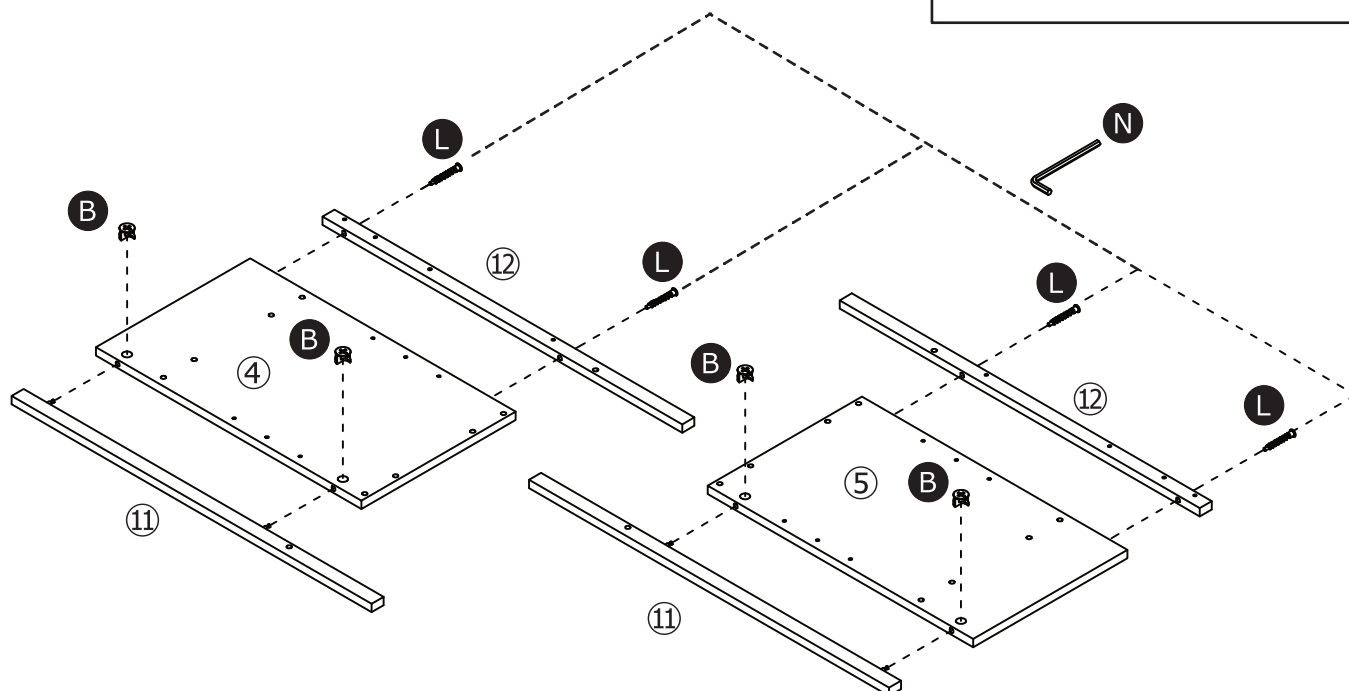
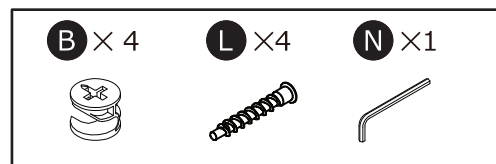
- 2 ①で木ダボを取り付けた①ボックス天板に、A.カムロックボルト（木材用）を取り付けます。
その後、I.転倒防止用金具をJ.ネジ（b）を使用して天板に取り付けます。



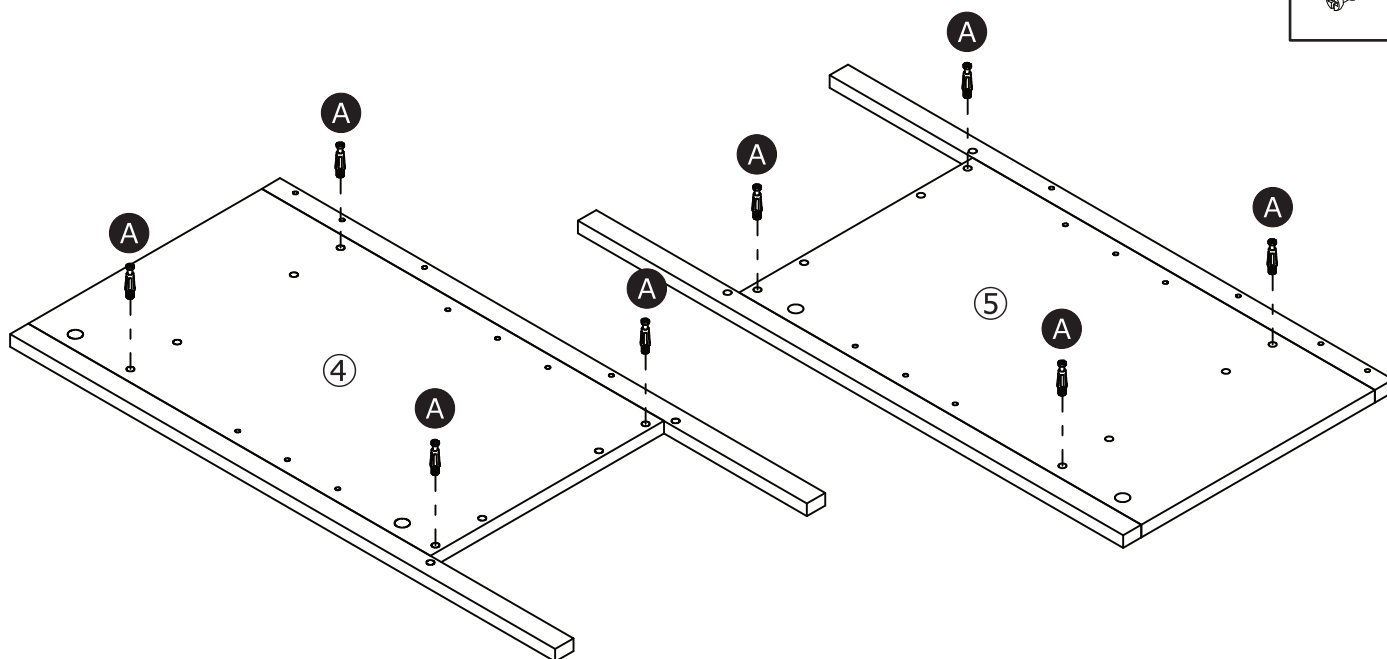
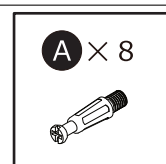
- 3 ⑪脚部上部（手前）にC.カムロックボルト（金属用）を取り付けます。



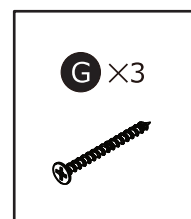
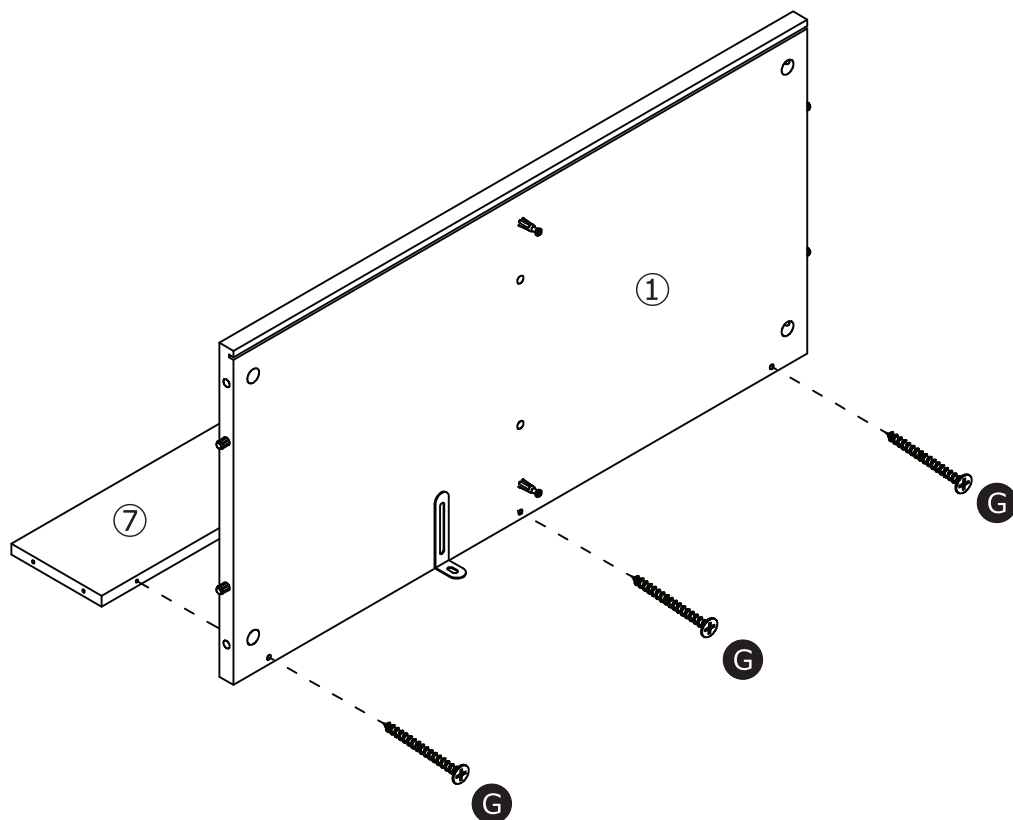
- 4 ④側板（左）、⑤側板（右）それぞれに③で組み立てた⑪脚部上部（手前）をB.カムロックナットで取り付け、⑫脚部上部（奥）をL.ネジ（c）で取り付けます。
※カムロックの取り付け方はp.6を参照。



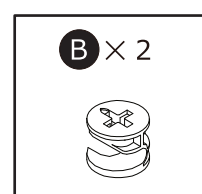
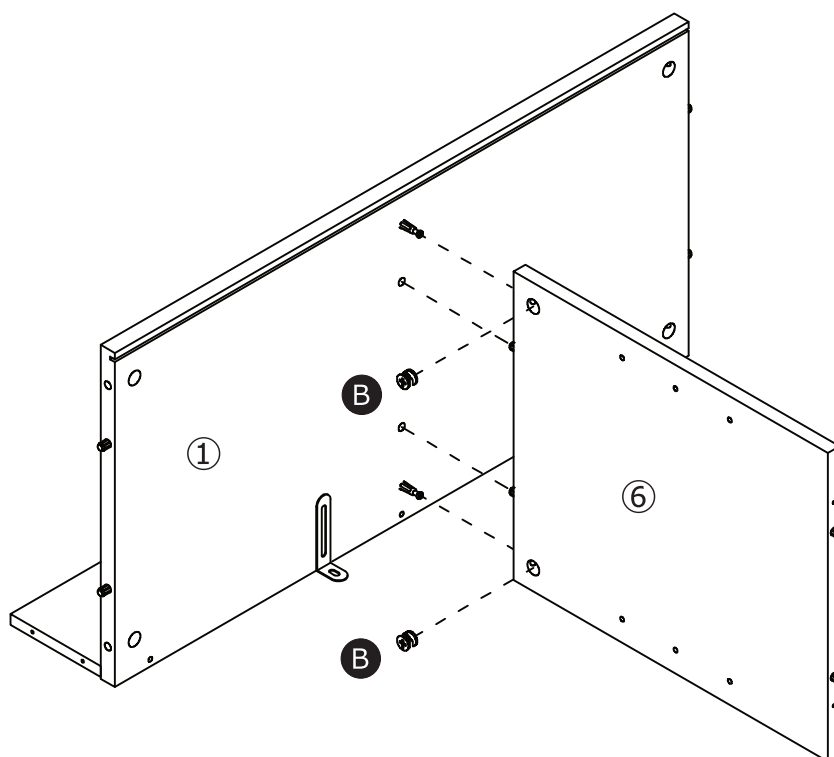
- 5 ④で組み立てた製品にA.カムロックボルト（木材用）を取り付けます。



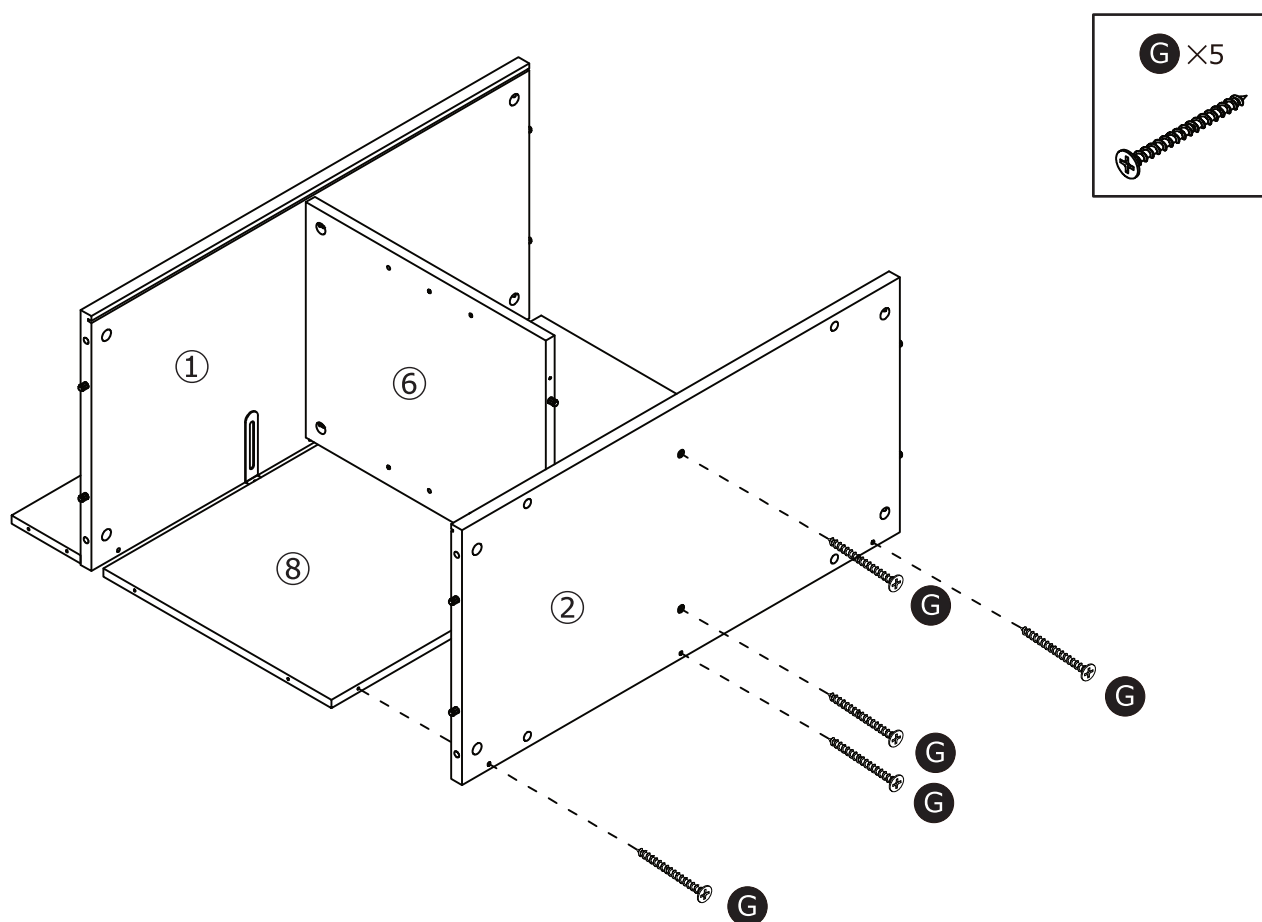
- 6 2でカムロックボルトと転倒防止用金具を取り付けた①ボックス天板に、
⑦天板上背板をG.ネジ (a) を使用して取り付けます。



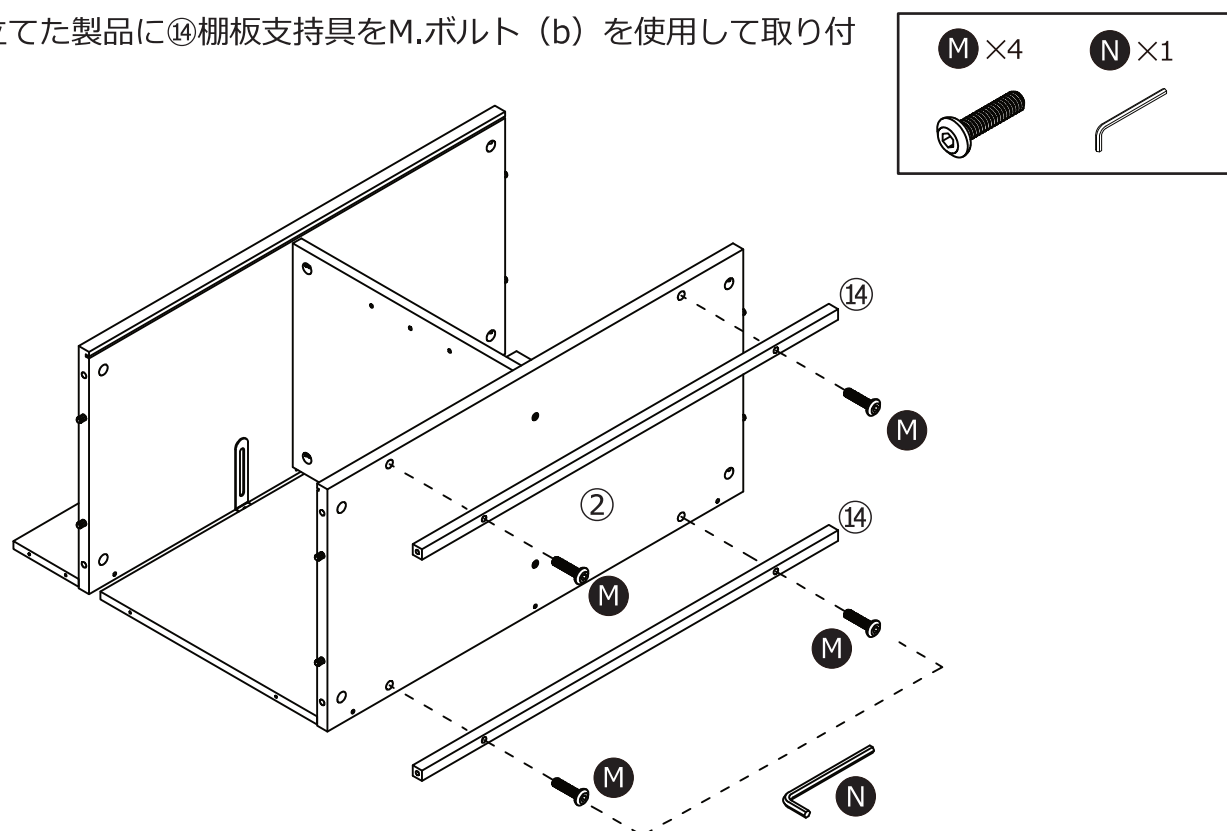
- 7 6で組み立てた製品に、⑥中仕切り板をB.カムロックナットを使用して取り付けます。



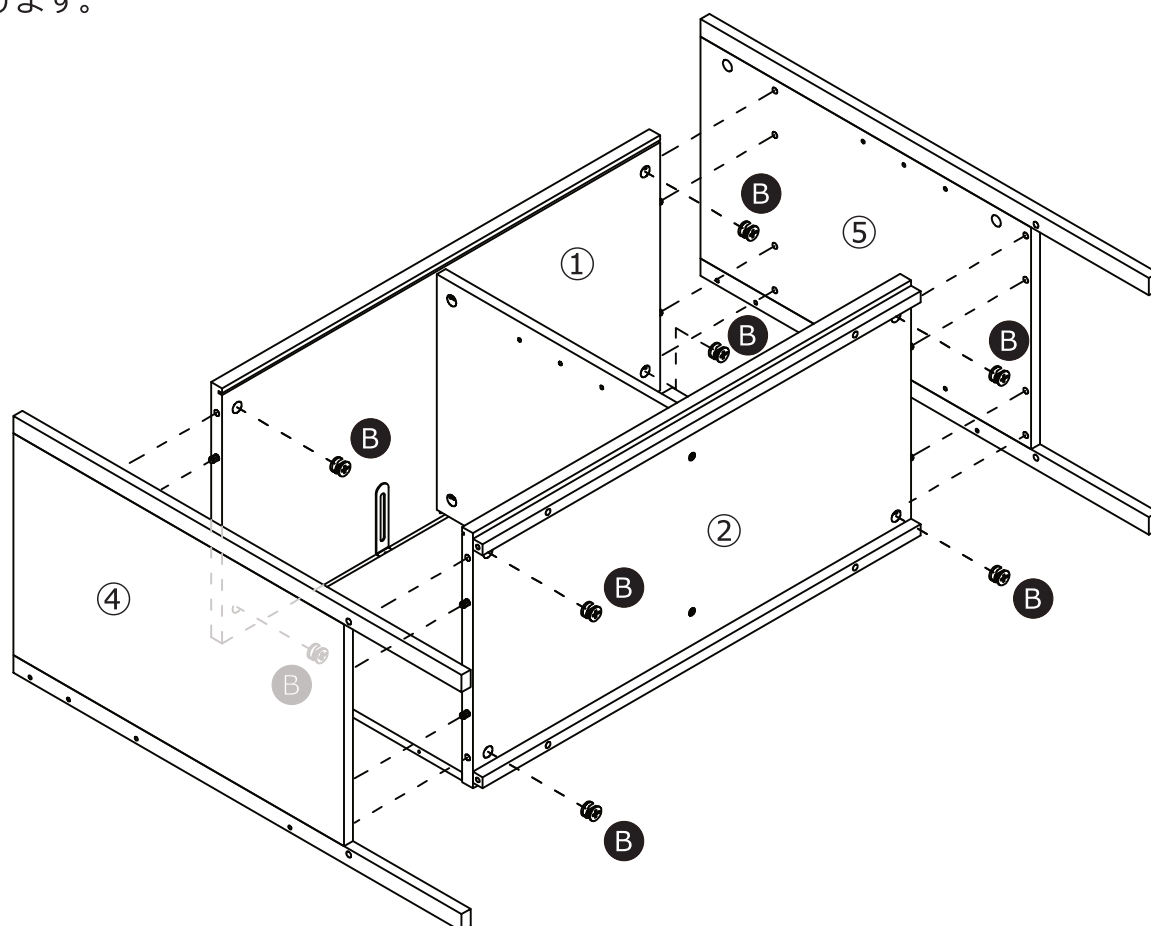
8 7で組み立てた製品に⑧ボックス背板と②ボックス底板をG.ネジ(a)を使用して取り付けます。



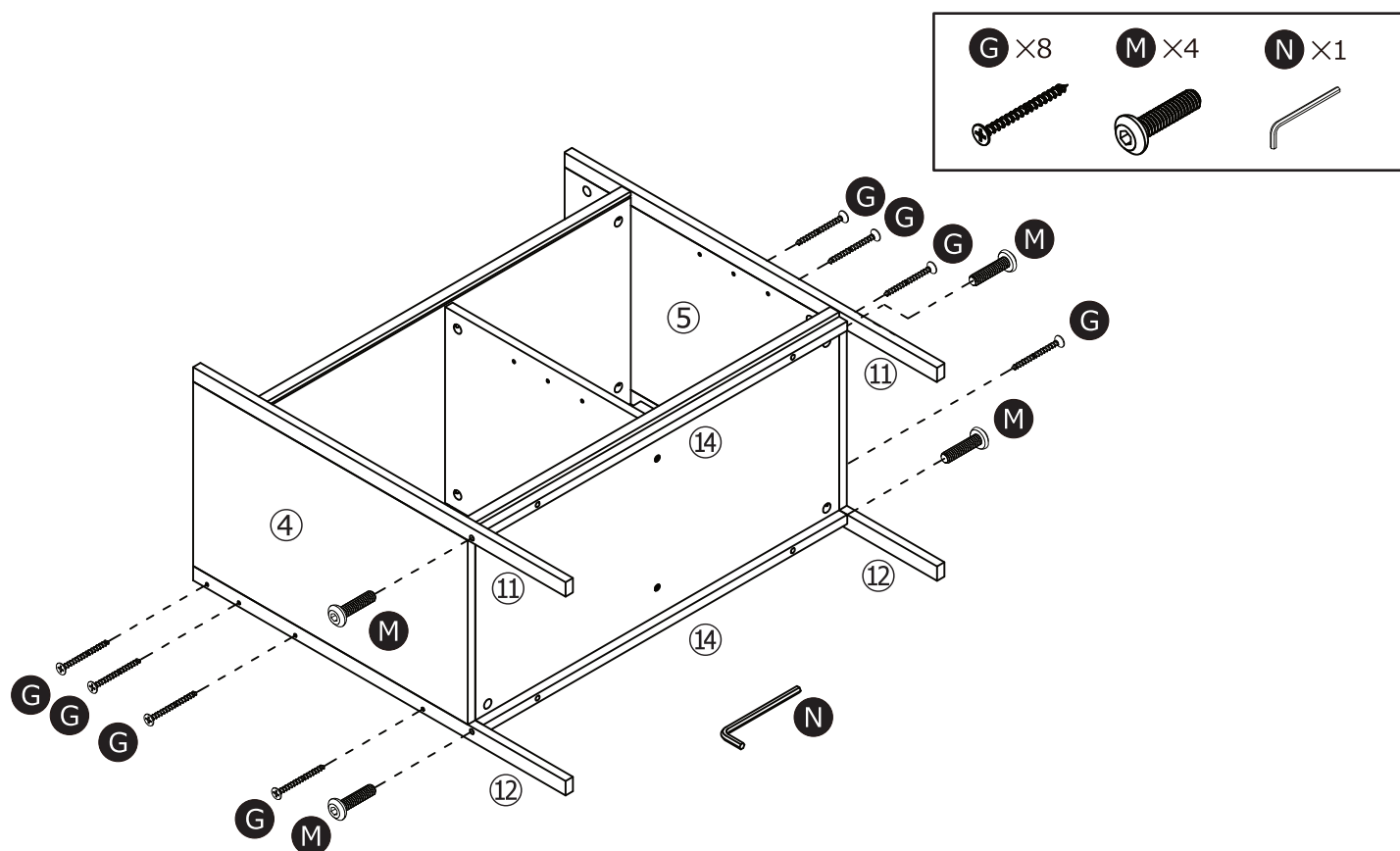
9 8で組み立てた製品に⑭棚板支持具をM.ボルト (b) を使用して取り付けます。



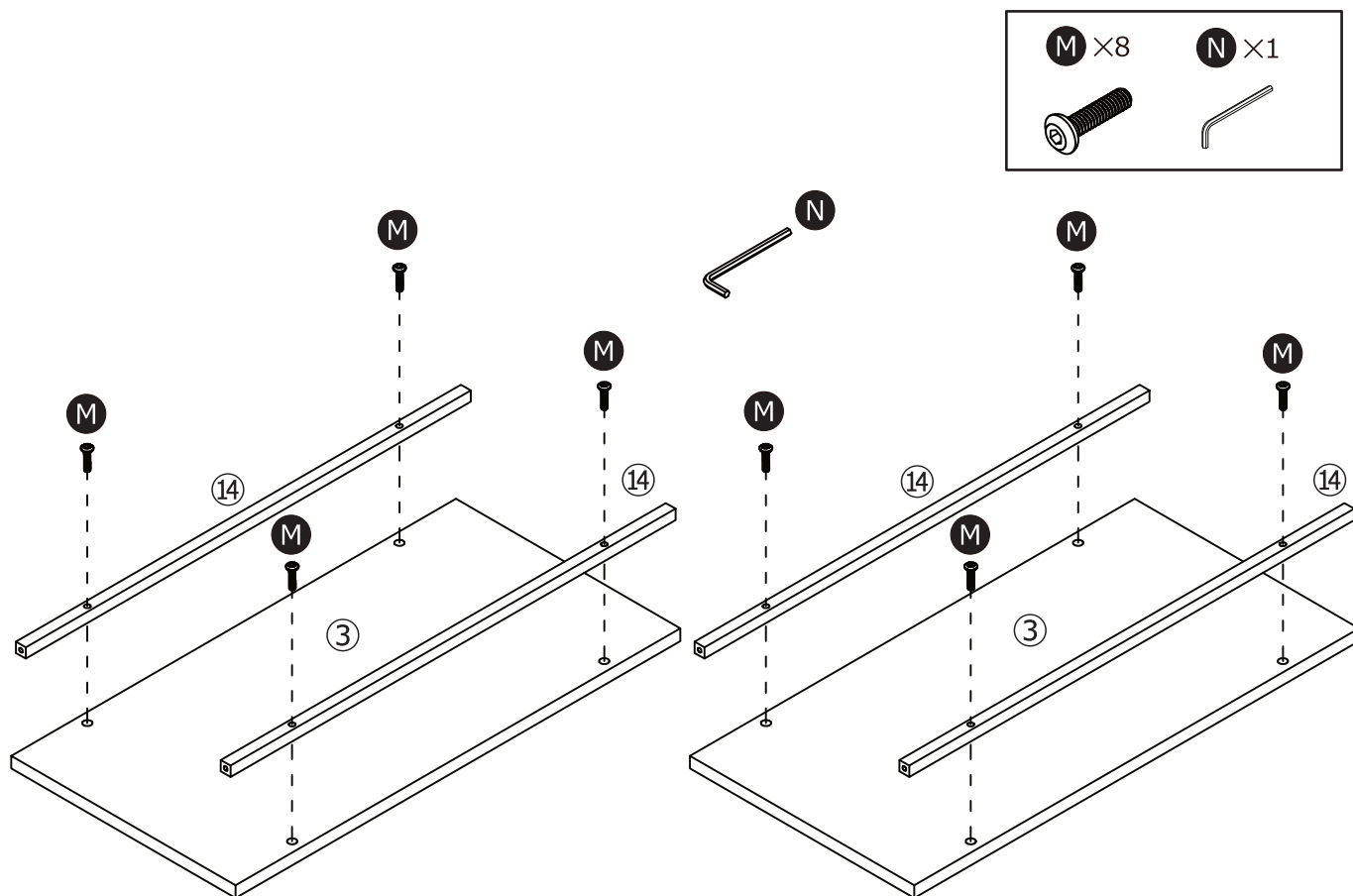
- 10 9で組み立てた製品に5で組み立てた側板をB.カムロックナットを使用して取り付けます。



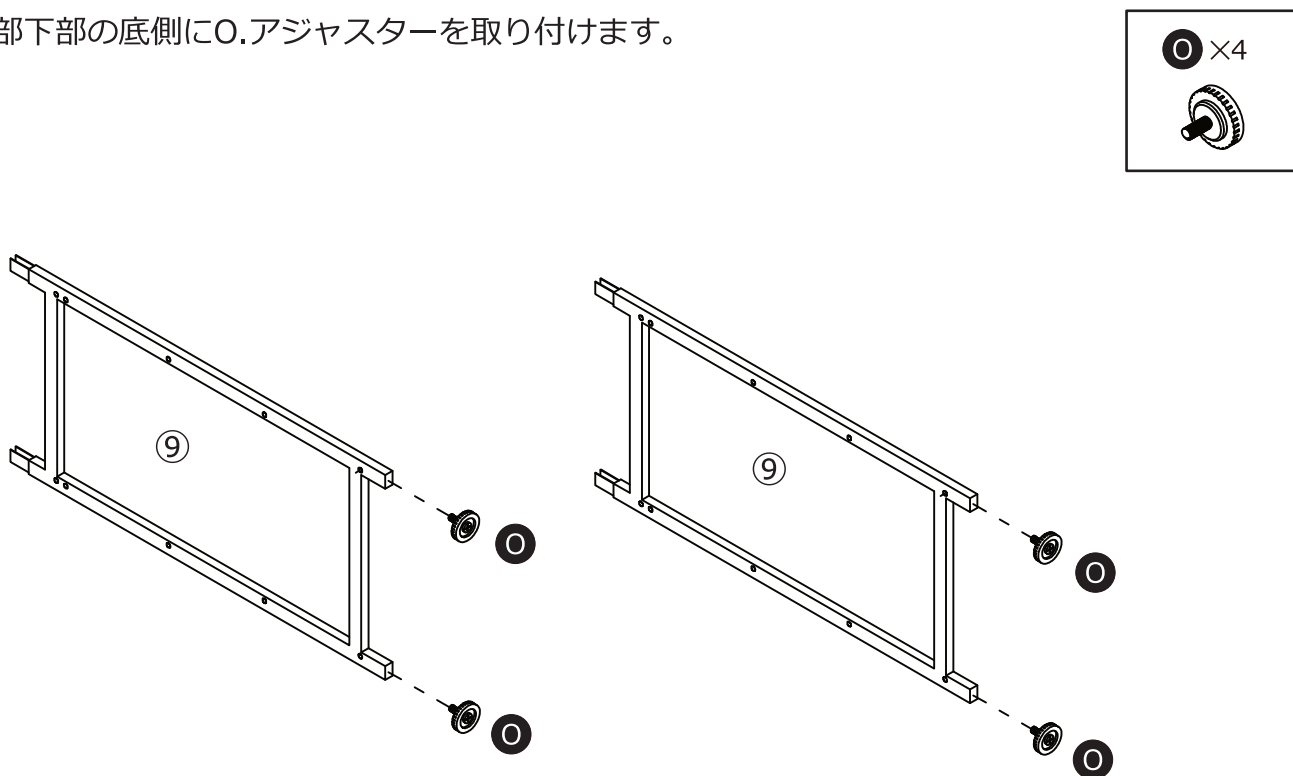
- 11 10で組み立てた製品をG.ネジ (a) とM.ボルト (b) を使用して更に固定します。



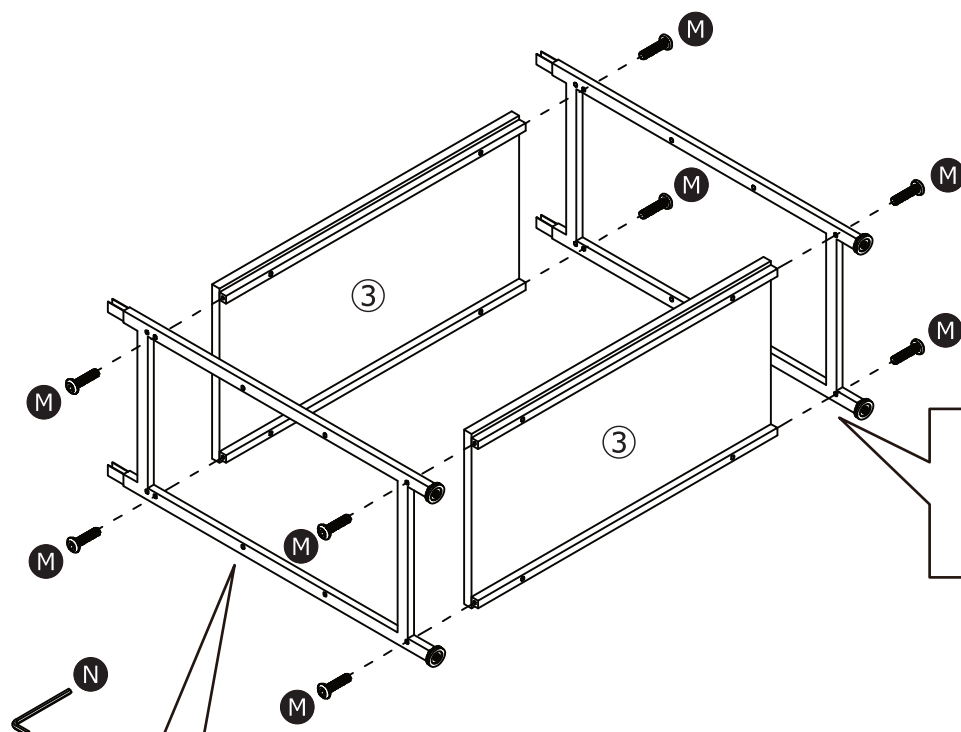
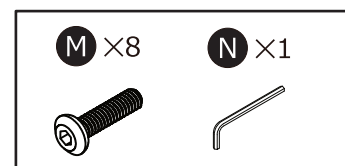
12 ③オープンラック用棚板に⑭棚板支持具をM.ボルト（b）を使用して取り付けます。



13 ⑨脚部下部の底側にO.アジャスターを取り付けます。



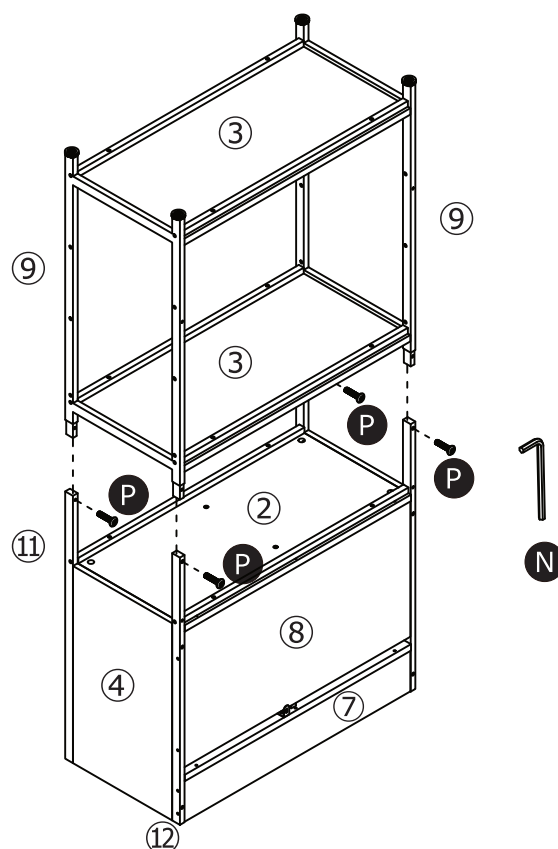
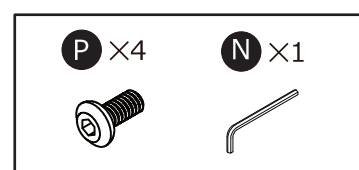
14 1213で組み立てた製品をM.ボルト（b）を使用して組み立てます。



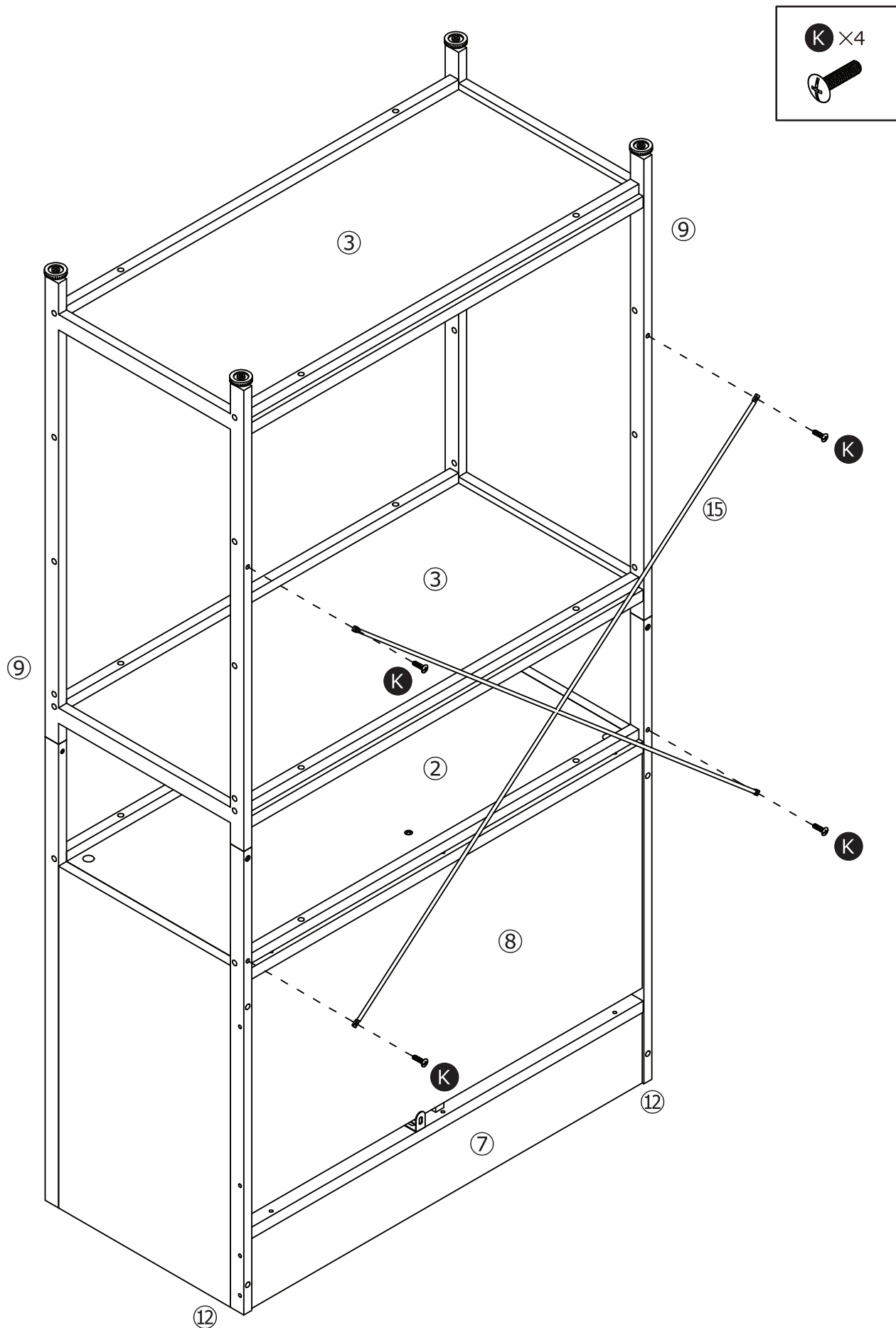
⚠ 最下段への棚板取り付け
製品の安定性を保つため、1番下の棚板取り付け位置には必ず③オープンラック用棚板を取り付けてください。

棚板の高さは4段階から選択可能です。
お好みの高さを選択し、③オープンラック用棚板を取り付けてください。

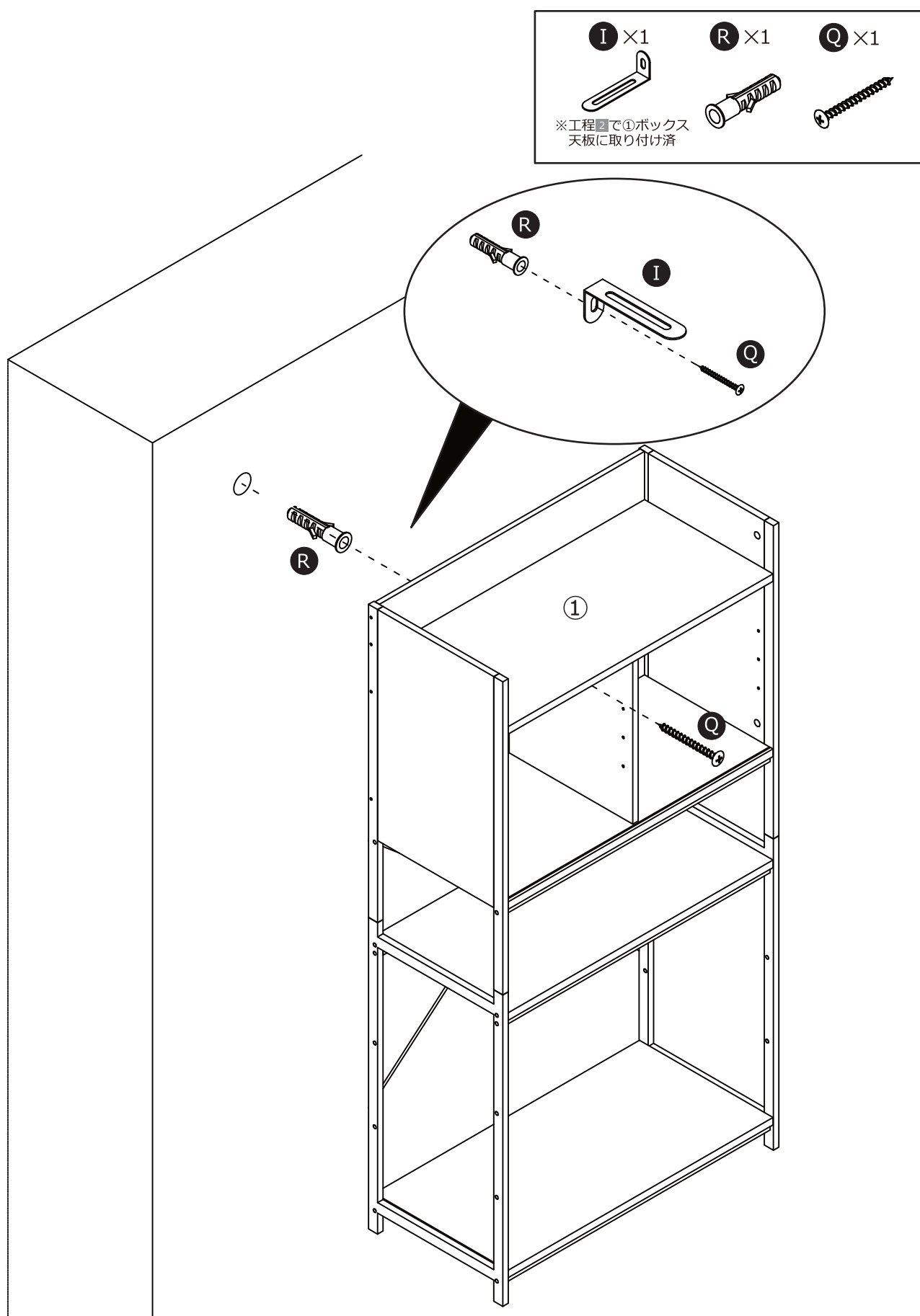
15 11で組み立てたボックス部分と、14で組み立てたオープンラック部分をP.ボルト（c）を使用して組み立てます。



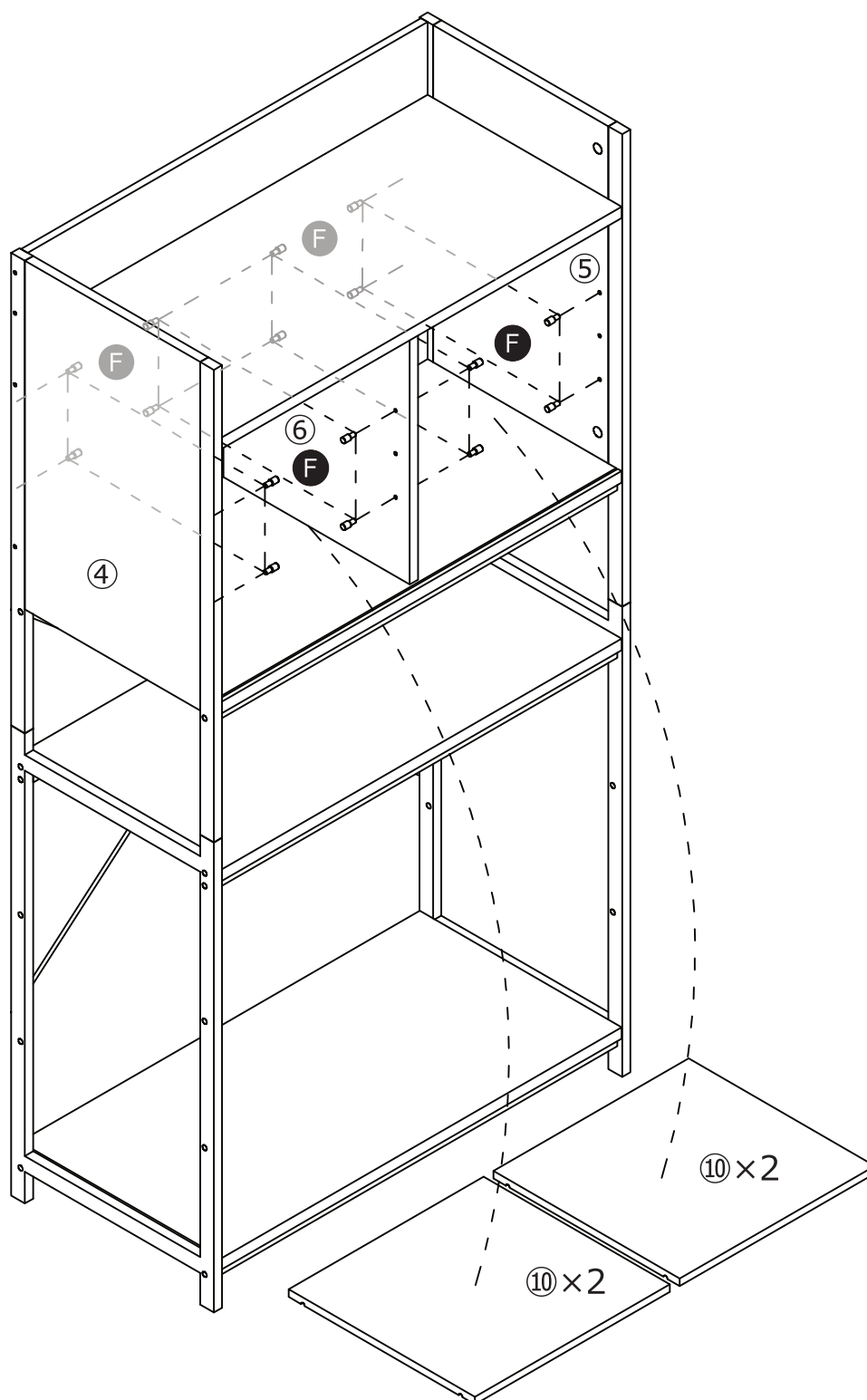
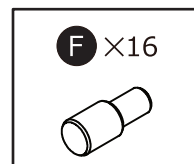
- 16 15で組み立てた製品の背面に、⑮クロスバーをK.ボルト (a) を使用して取り付けます。
取り付けが完了したら、十分注意しながらラックの上下を逆転させてください。



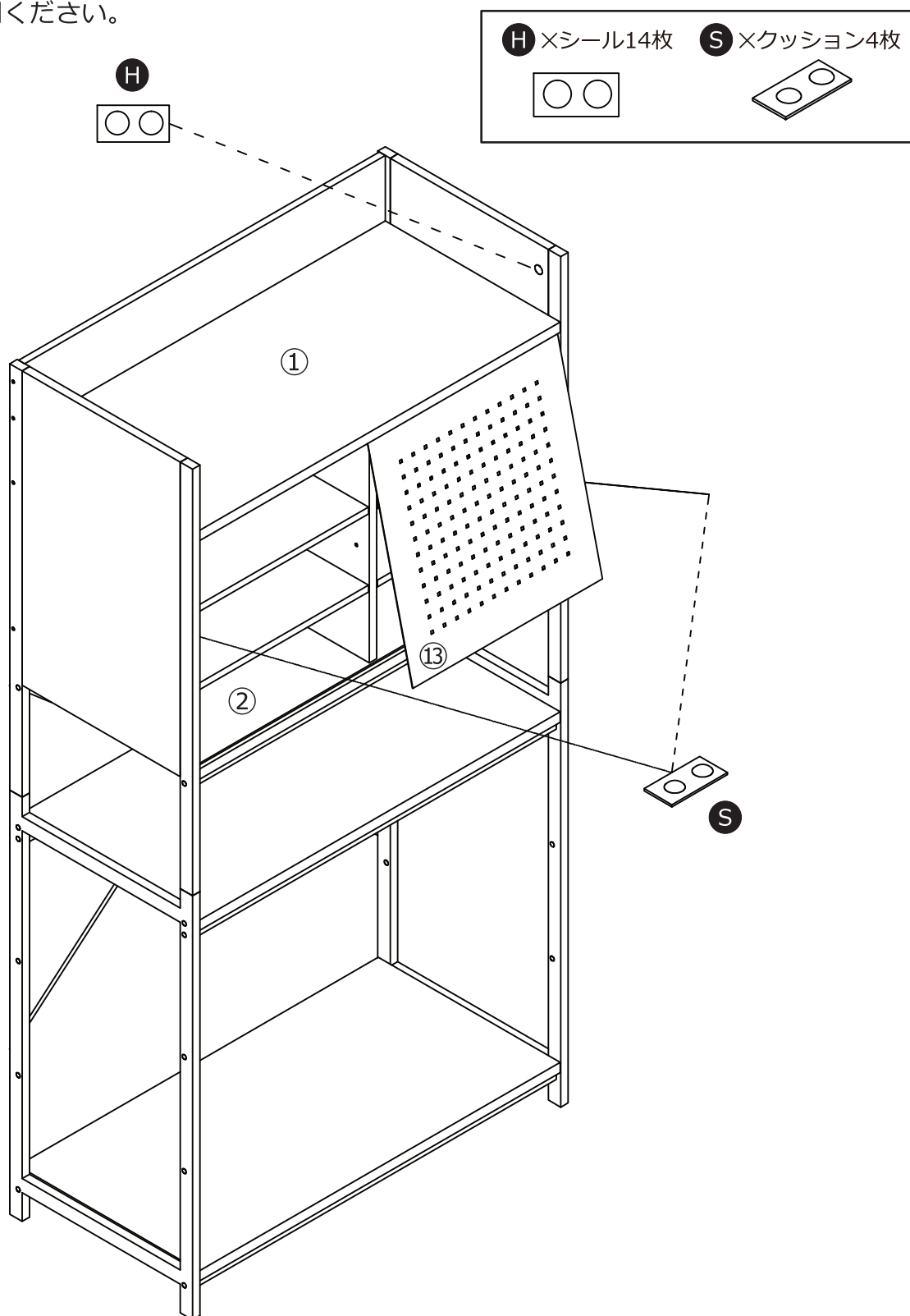
- 17** 16で組み立てした製品を壁際に設置し①に取り付けてあるI.転倒防止金具をQ.ネジで壁と連結します。打ち付けられる壁側には予めR.石膏ボード用アンカーを差し込んでおいてください。
※付属の固定用部材がやむを得ず使用出来ない場合は、市販の固定用部材を必ずご使用ください。



- 18 ボックス内のダボ穴にF.棚受けダボを取り付けます。左右の庫内合わせて6箇所から、任意の4箇所⑩ボックス内棚板を配置できます。



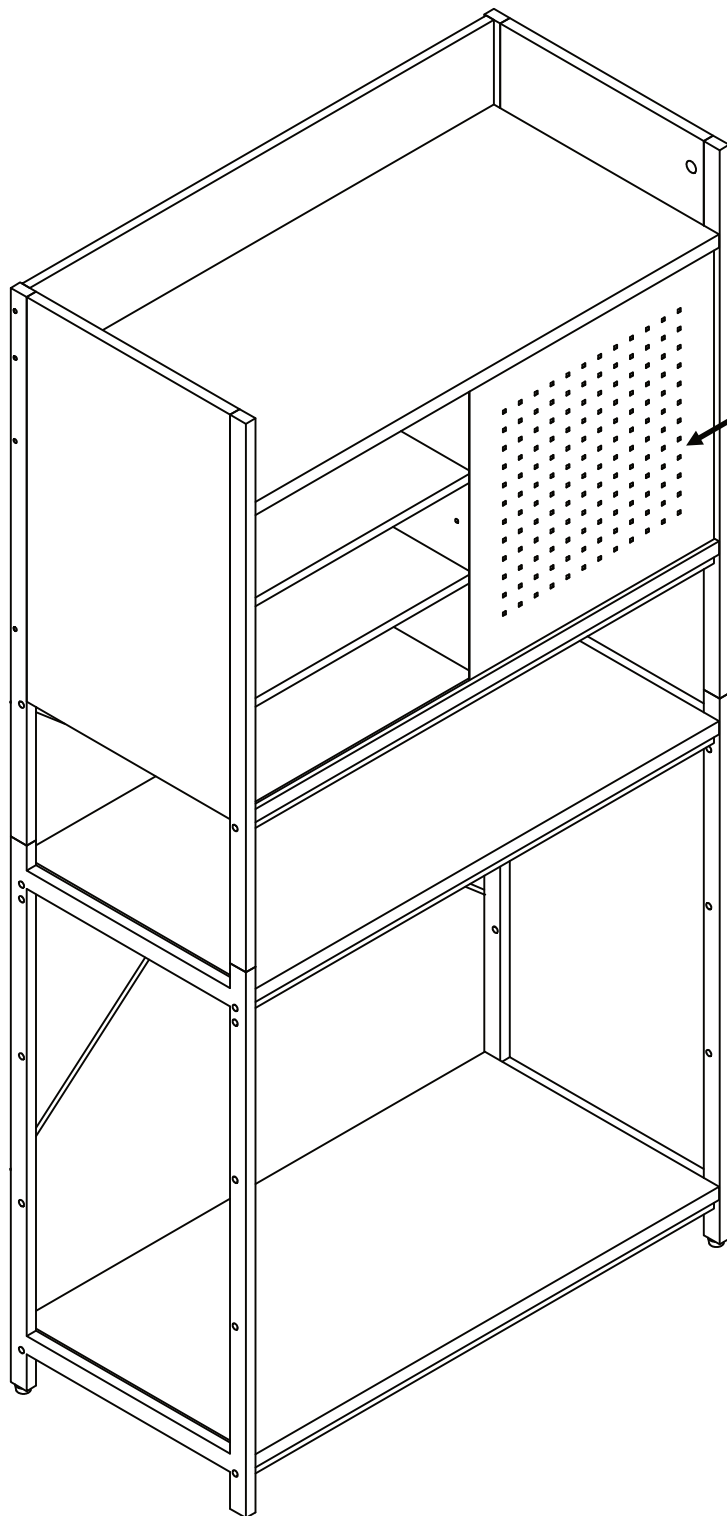
- 19 18で棚板をつけた製品に⑬パンチング扉を差し込みます。
下図の通り、①ボックス天板の溝差し込んでから、②底板の溝にはめてください。
目隠しをしたい穴（ダボ穴等）にH.化粧シールを貼り付けます。
パンチング扉での指挟みや戸当りが気になる方はS.戸当りクッションを扉が当たる板の側面に
貼り付けてご使用ください。



パンチング扉の穴サイズ

別売りの『ゲーミングデバイス フックセット (BAC-001-BK)』等、下記のサイズに適合するお好みのフックをご使用いただけます。

ご使用になるフックの取り扱い説明書をよく読んでご使用ください。



穴サイズ：約5mm角
穴の間隔：25mmピッチ
パネル板厚：約1mm
扉の後ろ側の隙間：約5mm